

広島県中小企業団体中央会 2020年8月分情報連絡一覧表

※本調査は9月の見通しについても調査をしている関係上、特に新型コロナウイルスの世界的感染拡大に対する9月以降のコメントも掲載しています。

(食料品)

●食料品

広島県東部菓子商工業協同組合

今月は、お盆前は好況であったが、お盆後景況感は後退した。製造直売の生菓子の売上が少しずつ回復している。コロナ禍で商品単価の以前より高い商品が売れるなど、消費者の動向が変わってきたような気がしている。

中国醤油醸造協同組合

8月の出荷量は前月比11.1%減少、前年同月比1.9%増加となり、売上高は前月比8.6%減少、前年同月比3.4%増加となった。

(繊維・同製品)

●繊維工業

広島県織物構造改善工業組合

コロナ禍以前の経営状態には戻らないのではないかと多くの声が多く聞かれるようになってきた。今後は戻らない状況下でいかに経営していくかが重要になってくる。

●衣服・その他の繊維製品

広島県アパレル工業組合

コロナ禍の影響でアイソレーションガウン(医療用個人防護服)の製造を始めた4社がこのたび組合へ加入した。

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・令和2年7月の全国の住宅着工戸数は70,232戸で前年同月比11.4%減少
- ・季節調整済年率換算値では828千戸(前月比4.8%増加)
- ・利用関係別では、持家は22,708戸で前年同月比13.6%減少、貸家は27,684戸で前年同月比8.9%減少
- ・分譲住宅は19,359戸で前年同月比11.8%減少
- ・木造住宅着工は40,450戸で前年同月比12.7%減少
- ・住宅着工動向は前年同月比13ヶ月連続で減少

<広島>

- ・7月の着工戸数は1,057戸で前年比32.7%減少
- ・内訳として持家は431戸で前年比11.5%減少、貸家は401戸で前年比3.4%減少、分譲は225戸で前年比64.7%減少と県全体の住宅着工動向は減少
- ・コロナ禍による3～5月の展示会等の中止や訪問営業自粛等の影響で、早くから需要の落ち込みを懸念する声が多くあった中で、今後、需要低迷の本格化を予想する企業もあり、先行きが見通しにくい状況
- ・長期間堅調であったプレカットも目立った需要減には陥らず、依然堅調な加工を続ける企業がある一方、受注・稼働とも減少し業況悪化を訴える企業も多く、二極化が進んでいる
- ・地方の経済活動がコロナ禍で萎縮し、売上の減少や採算の悪化、低調な引き合いなど様々な不安要素がある中、国の新型コロナ対策に呼応した非住宅木造への期待もあるが、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

福山木材協同組合

先行きが見えないことが不安である。

ひろしま木材事業協同組合

8月は未だ原木価格が低水準であり、杉桧ともに出材は盛り上がりには欠ける状態であったものの、桧の一部サイズについては不足感もあり県東部を中心に相場は若干上がりつつある。

県内において、8月前半は仕事量が増え、プレカット工場では1～2時間の残業が必要な先もあった。8月後半も9月の上棟が決まっているものが多く、前倒しで加工を行っており、前年実績には劣るものの一定の仕事量を確保している。

(印刷)

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

コロナ禍で仕事量が減少しており、雇用調整助成金で堪え忍んでいる状況である。

設備の老朽化による生産性の低下、品質の低下が顕著な工程は生産性効率を高め、高付加価値を目指しものづくり補助金に挑戦するなど、ブレーキとアクセルを両方踏んでいるような状況で前を向いて進んでいる状態である。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

先月から特に変化はない。

第1四半期(4～6月)で取り組んだ経費削減効果が出始めているため、この状態を最低限続けることが大切である。品質向上のための活動を全体で進めており、お客様の信頼獲得を目指していく。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上、設備操業度は回復基調ではあるが、業界全体ではまだまだ低迷している。各社資金繰りへの影響が懸念される。問題は、コロナ禍の終息時期が見通せないことである。

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況

R2年 8月 2,621m³ (前年比3.6%増加)

R2年 7月 2,855m³

R1年 8月 2,530m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼業

靱鉄鋼協同組合連合会

鋳物、溶断が厳しい。特に建築向けの溶断は大手からの注文が消費税率の引上げにより減少していた中、さらにコロナ禍により3月からは止まったまま回復しない。鋼材の価格高騰のあおりを受け材料の仕入は高くなり、鋼板の切れ端であるスクラップの売値が安価であるため、収益率が低く厳しさが増している。

(一般機器)

●一般機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合

先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比15%減少となった。

収益状況、設備操業度は前年比悪化となり厳しい状況が続いている。今後も悪化のまま横ばいで推移していくことが予想される。

(電気機器)

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

先月同様、新型コロナウイルスの影響で、国内外ともに受注が減少しており、前月比5%減少、前年同月比10%減少となった。海外のロックダウンの影響で輸出は前年比累計20%減少している。設備投資減少の影響は大きく、特に小型機種の不況感が強い。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客(マツダ)の業況(生産台数)に比例している。

・8月の国内自動車販売台数は全需が326千台、前年同月比16.0%減少と11ヶ月連続の前年割れ。登録車は前年同月比18.5%減少と11ヶ月連続の前年割れ、軽自動車も前年同月比で11.8%減少と11ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同3.0%減少と5ヶ月連続の前年割れ

・アメリカの7月の全需は1,227千台で前年同月比12.1%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車は同3.4%増加と2ヶ月連続の前年超え

・欧州の7月の全需は1,438千台で、前年同月比2.7%減少と7ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同13.6%減少と7ヶ月連続の前年割れ

・中国の7月の全需は1,652千台で、前年同月比9.4%減少。マツダ車は同4.1%増加と4ヶ月連続の前年超え

・上記各地域の状況下、マツダ車の7月の海外販売合計台数は94千台、前年同月比11.5%減少で7ヶ月連続の前年割れ

・マツダの7月の輸出台数は前年比21.2%減少と10ヶ月連続の前年割れ

・マツダの7月の国内生産台数は、前年同月比22.3%減少と10ヶ月連続の前年割れ

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の令和2年7月の船舶建造許可実績は1隻11,900総トンであった。(前月8隻237,290総トン、前年同月3隻100,900総トン)

なお、内訳は国内船が1隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

(その他)

●家具・装備品

府中家具工業協同組合

コロナ禍で売上減少、景況感の悪化が続いている。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合福山卸センター

新型コロナウイルスの影響により前年同月比売上は減少した。終息の兆しがないため、今後どこまで影響が及ぶのか心配している。

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

先月に比べて全体としては景況感に変化はない。新型コロナウイルスの影響がどこまで出るのかは、現時点では引き続き不透明である。

「雑貨」においては、生活用品関連取扱業者は改善、観光関連業者は厳しい状況が続いている。紙関連は広告、紙袋等が減少しており厳しい。医療関連は大きな落ち込みはない。

「資材」においては、昨年度までの受注分で大きな落ち込みは現在までなかったが、今後は販売先の設備投資抑制等から特に民間からの受注の見通しは厳しい。

「食品」においては、スーパー向けの日配品、生鮮品は前年並み。特に宅配を行うスーパー等向けは好調である。業務用と土産品向けは引き続き厳しい。販売先によって濃淡がある。

「繊維」においては、洋服関係(特に紳士服)は厳しい状況。販売先の売れゆきが鈍く、厳しい状況が続く見込みである。

5月を底に改善の兆しはあるものの、前年同月比では厳しい状況である。新たな借入で資金繰りを確保しているが、年度後半に前年同期並みに改善できないと厳しい状況に再度陥る懸念がある。

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

コロナ禍による新築住宅着工数減少により、業界にも売上減少の影響が出始めている。官公庁物件の発注数が少なく、さらに大型案件が多く入札業者が限られているためではないかと思われる。

●卸売業(家具)

リビンズ株式会社

今月の景況感は、先月に比べ売上はやや鈍化しているが引き続き好調である。ただし、来月の売上は、昨年9月は消費税率引き上げ前の駆け込み需要があったため、前年同月比では減少することが予想される。

●卸売業(畳・敷物)

広島県畳製品商業協同組合

前年同月比30%強の減少となった。前月比では、取扱量はやや増加したものの、未だ正常な販売、取扱には戻っていない。コロナ禍により大幅な営業が出来ない状況であり、畳店からも訪問を出来るだけ減らして欲しいとの要望がある。早くコロナ禍が終息し、エンドユーザーにプレゼンできる機会が戻ってくることを願う。

(小売業)

●各種商品小売業

協同組合三次ショッピングセンター

集客に重要な文化教室の一部休講や、店舗の時短や休業など客数減少に歯止めがかからない。

広島生鮮三品連絡協議会

- ・今月は、お盆休暇の移動自粛により売上が大幅に減少した。
- ・コロナ禍の長期化に伴い消費者の節約志向が鮮明になってきた。
- ・3密対策の意識が消費者に定着しつつある為、来店客数が低下傾向にあるが、まとめ買いで客単価は上がっている。
- ・大手量販店は独自にポイント制度を継続し、一部商品の価格を下げるなどまとめ買いを囲い込む動きが見られ、小売業界内の格差が大きくなりつつある。
- ・コロナ禍で消費行動が週末型になり、まとめ買い需要が増えたことで、生鮮食料品の需要が下がり、逆に保存の効く商品の需要が増えたことで生鮮食料品業界の景況感は悪化している。
- ・GoToトラベル需要は限定的で飲食業界への波及効果は感じられず、GoToイートも時期尚早ではないかと思われる。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比5.6%増加となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比5.4%増加、冷蔵庫同3.8%増加、洗濯機同2.1%増加、IHクッキングヒーター同8.4%減少、エコキュート同1.9%増加、エアコン同18.3%増加となった。

5～6月のコロナ禍による落ち込みが8月で盛り返してきた。特に猛暑によるエアコン、冷蔵庫の好調に

加え、自粛による巣ごもり需要で薄型テレビも堅調に推移した。特別定額給付金の効果との声も届いている。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

梅雨明け後の猛暑続きで感染症対策に苦慮している。販売価格の変動は以前ほどないが、仕入価格が上昇しており収益状況、資金繰りは悪化していると考えられる。

（商店街）

●商店街（各種商品小売業）

広島金座街商店街振興組合

コロナ禍により前月比、前年同月比とも売上が減少している。

呉本通商店街振興組合

夏から秋にかけてのイベントが次々と中止の決定がなされている。8月の土曜夜市、9月の花火大会、10月の神社の秋祭りなど商店街活性化に結びつく集客、賑わい事業の実施が困難な状況であり、今年中はこの傾向が続くと懸念される。個店の売上は前月比横ばい、前年同月比減少で推移している。

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は、前月比15.8%減少、前年比9.6%減少

車検場収入は、前月比16.7%減少、前年比9.3%減少

重量税・登録印紙の売上は、前月比15.1%減少、前年比10.9%減少

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

今月は、先月に比べ若干稼働状況は改善しているが従来の受注量まで戻っていない。来月も引き続き受注は少ないことが予想される。

●警備業

広島県警備業協同組合

コロナ禍の影響が心配される。

●情報サービス

（一社）広島県情報産業協会

引き続き新型コロナウイルスの影響により受注・売上ともに前年を下回る水準となっている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロスの3品目合計について、8月度は前月比37.4%減少、前年同月比7.4%増加、累計前年比10.8%増加となった。今月は実労働日数が少なく、コロナ禍にも関わらず前年同月比及び累計比で微増が続いている。

秋以降の新規物件は少なくなることが予想される。

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比4.4%減少、前年比17.5%増加となった。

現状では未だ新型コロナウイルスの影響を受ける前に受注した工事があるが、今の状況が続くと9月には受注予定がなくなる。秋口から厳しくなるのではないかと予想している。

神辺建設業協同組合

人手不足と先行き不安感が漂っている。

（運輸業）

●道路貨物運送業

中国カーゴ軽運送協同組合

年中無休、24時間体制、時間外受注もあるため組合運営がなりたっている。業界では人材不足が常に課題である。今いる人材を活かすことも我々執行部の責任である。

松永地区トラック事業協同組合

8月の売上高は、前月比変化なしとなったが、前年同月比は大幅に減少した。

前月と比較すると中旬以降、関西・中部・関東方面からの返路貨物は多少増加傾向にあるが、コロナ運賃と称して以前より運賃が安価になっている。全体的に貨物量が少ないため、致し方ないのかもしれないが、安価な運賃で輸送するとそれが当たり前になりかねないため、やむなく空車回送することもある。

コロナ禍により国内物流が大打撃を受けて半年が経過したが、本来の働き方改革による労働環境の改善ではなく、仕事量減少による働き方改革となっている。

広島輸送ターミナル協同組合

8月は稼働日数が少なく売上は前月比減少となったが、前年同月比ではほぼ同程度が増額となった。

自動車関連は若干減少したが、建築・土木関係はコロナ禍の影響が少なく目標通り推移しており、食品・

日用品関連は増加した。

4～5月は燃料価格が大幅に下落したため物量の減少による収益悪化を補う事も出来たが、6月以降の燃料価格は上昇してきている。運賃の下落、値下げ要請もあり今後収益の悪化が考えられる。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高年齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

運賃、用船料の改善が見られない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

前月比は特に変化なし。前年同月比は資金繰りが好転のままで、その他は不変である。

8月は引き続き固定資産税標準宅地評価の時点作業等があり、依然としてコロナ禍の地価への影響は不透明である。

流川・薬研堀歓楽街の飲食店等は、クラスター発生により客足が遠のいている。さらに飲食店舗の閉店が増えてきている。

不動産市場については、コロナ禍の影響による先行き不透明感はあるものの、低金利政策等により需要は堅調に推移している。